



## 「知識」を土台に「知恵」を働かせる人に

校長 増井 一久

今年の10月1日、消費税が8%から10%に引き上がる予定です。日本に消費税が導入されたのは平成元年4月1日。当時は税率が3パーセントでした。

消費税導入の日、私はあるコンビニエンスストアで買い物をしていました。必要な物をかごに入れレジに並ぶと、私の前に小学校2年生くらいの男の子が100円のお菓子を1つ買おうとしていました。手には100円玉1枚を握っています。昨日まではそれで買い物ができました。

「ありがとうございます。103円です。」という店員さんの声に、

「えっ」と、男の子は一瞬小さな声をあげました。店員さんは男の子に今日から消費税が導入されたことについてやさしく説明していました。残念ながら3円足りません。男の子は買ったかったお菓子をレジの上に置き、しょんぼりとした表情で店を出て行きました。

平成元年ころ、子どもたちに絶大な人気のお菓子がありました。『びっくりマンチョコ』（30円）です。当時、私は4年生の担任をしていました。ある日、クラスの子どもから買い物の節約術を教わりました。

「先生、びっくりマンチョコを2個買うと60円で1円の消費税。3個買うと90円で2円の消費税がつくんだよ。でもね、1個だと消費税が取られないんだよ。だからね、1度に2個以上買わず、1個ずつ何回も買うほうが得だよ。先生もそうした方がいいよ。」

お小遣いを節約している子どもならではのアイデアです。大人は何度も並ぶことの方がわずらわしいと考えます。子どもが私に伝えてくれたことは、学校では学ばない子ども自身が生活経験をとおして獲得した知恵です。

買い物の時のアイデアと言えば、例えば503円の買い物をした時、千円札1枚を払うとたくさんの小銭のおつりが返ってきます。財布の中が小銭だらけになってしまいます。そのような時、意図的に1003円を支払い、おつりは500円玉1枚をもらう、という工夫をされる方も多いと思います。このようなことも算数の授業で学んだのではなく、それまでの買い物経験を通して、次第に身に付けられた知恵です。

さて、前置きがとても長くなりました。まもなく子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。私は、子どもたちに「知識を土台にして知恵を働かせる人」になってほしいと願っています。夏休みならではの様々な体験は、正に子どもたちの知恵を育む宝庫ではないでしょうか。35日間の有意義な夏休みを終え、子どもたちの元気な声が戻ってくる日を楽しみにしています。

# たくさんの佐渡の歴史を歴史・文化を知ることができました

6年1組

私が佐渡で学んだことは2つあります。1つ目はみんなをまとめることです。私は活動班の班長でしたが、バラバラになるときがあつて大変でした。なのでみんなをまとめることが大変だと学びました。2つ目は協力することです。次に何をするのか、どこへ行くのかなど、みんなと話し合つて分かつたことがあるので、協力の大切さが分かりました。

6年1組

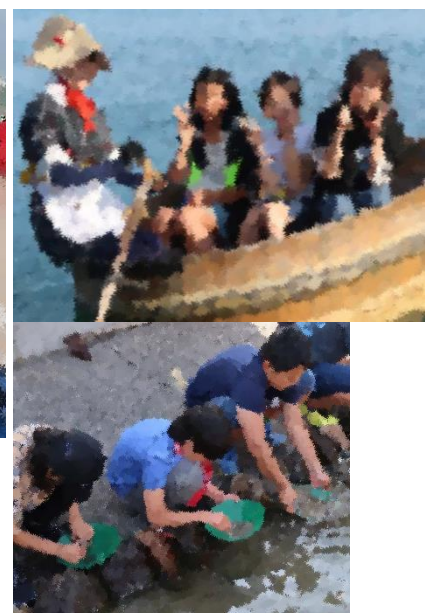
私が1番心に残つたことは、たらい舟体験です。理由は、たらい舟をこぐのがすごく難しかったからです。私がこいだときに前に進んだり後ろに進んだりしましたが、たらい舟をこいでくださった方が優しく教えてくれました。佐渡体験学習で学んだことは、奉行所についてです。私ははじめ、奉行所は刑務所のようなところだと思つていました。けれど、刑務所ではなく、銀行のようなところだと教えてもらいました。

6年1組

佐渡は、金や金山の歴史がたくさんあることが分かりました。奉行所や金山で、金はどのように使用されるのか、どうやって判を作るのかなどたくさんのことを知ることができました。金山で使つたものを展示してあるところに行くと、たくさんのものが展示してあり、びっくりしました。また、佐渡に行つて歴史を調べてみたいです。

6年1組

私は佐渡体験学習で、古い歴史を学びました。金山が割れている（道遊の割戸）昔の人が金を取つた跡だということや、砂金を取る道具は、人が作つたものもあるということが分かり驚きました。また、金を取ることが難しく大変ということから、高価で、1g5000円もするということが分かり、改めて金は大事なのだと思ひました。



## 6年2組

佐渡金山の中はとても寒く、ロボットが当時の仕事の様子を再現していました。ロボットは、ご飯を食べていたり、鉱山をほっていたり、おどっていたりしました。鉱山の中では、いろいろなことが行われていたということが分かりました。おみやげ売り場で1000万円以上もする石が売っていました。どういう人が何のために買うのかが気になりました。

## 6年2組

ぼくの修学旅行の思い出は、砂金採りです。ぼくは、砂金を本当にとれるのか、不安でした。でも、3つほどとれて、とてもうれしかったです。砂金の入った容器をふると、カラカラと音がしたので、本物だということがわかりました。自分の中では、佐渡というと金の印象が強くありました。実際に見学してみて、砂金や金のものが多かったので、イメージ通りでした。どのくらいの量の金が佐渡にあるのか、知りたくなりました。

## 6年2組

たらい舟にのるとき、ゆれるので、すごくこわかったです。でも、プロの人がこいでいると、海風を感じられて気持ちよくて、このままずっと、たらい舟に乗っていたいな、と思ったくらいです。自分で操作してみると、けっこう力があるし、難しかったです。プロの人は軽々とこいでいたので、びっくりしました。海を見てみると、ウミブドウがすれすれまで、のびていました。魚が見つからなかったのは残念でしたが、とても楽しかったです。

## 6年2組

トキの森公園には、いろいろな種類のトキがいました。黒いトキがいて、カラスみたいでした。一番印象的だったのはオレンジ色のトキで、フラミンゴのようでした。わたしは、以前、友達の家で遊んでいるとき、窓の外に、目の周りが赤っぽい、白い大きな鳥を見たことがあります。そのときから、トキをこの目ではっきり見たい、と思っていました。実際に佐渡に行ってトキを見ることができて、本当によかったです。



## 三校合同あいさつ運動

木崎中学校の生徒(卒業生)と合同であいさつ運動をするのは、今年で6年目になります。7月8日からの1週間、地域の方にも応援いただいて、あいさつ運動を行いました。

今回のあいさつ運動では学校に登校した児童が、中学生に元気よくあいさつをするとシールをもらい、カードに貼りました。地域の方は、校舎の横で、児童とタッチをしながらあいさつをしてくださいました。自然と笑顔であいさつが生まれ、一層元気にあいさつをする姿が、あちらこちらで見られました。元気よく一日のスタートを切ることができて、とてもよかったです。



## ハッピーパフォーマンスショー

7月16日から18日までの3日間、集会委員会が企画したハッピーパフォーマンスショーがありました。出演した児童は歌や演奏、ダンスなどの発表をしました。どの発表も工夫されており、見る人も演じる人も一体となって、会場はとても盛り上がりました。1年生から6年生まで楽しいパフォーマンスがくり広げられ、木崎小が元気になりました。

